

<全体分析>

試験時間 100分

解答形式

記述式と客観式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

特になし

その他トピックス

特になし

<大問分析>

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
I	読解総合	「高等教育の需要の高まり」 (約900語)	<p>評論 《出典》 Paul Attewell and Katherine S. Newman, <i>Growing Gaps: Educational Inequality Around the World</i> (大学発表)</p> <p>問1 文法正誤問題 本文中の下線部で文法的な間違いを含むものを2つ選ぶ。</p> <p>問2 下線部内容選択 下線部で筆者が言いたいことは何かを選択する。選択肢は英文。</p> <p>問3 空所補充 文と文をつなぐ語句を選択する。</p> <p>問4 下線部和訳 分詞構文, one... the other, political spectrum などの訳出がポイント。</p> <p>問5 下線部内容説明 this imbalance の内容を説明する。下線部直前の内容をまとめる。</p> <p>問6 空所補充 文と文をつなぐ語句を選択する。</p> <p>問7 下線部内容説明 下線部の内容について筆者が何と何を対比しているかを説明する。</p> <p>問8 語句整序 本文中の文を並び換えて英文を完成させる。選択肢は6つ。</p>	標準

II	読解総合	「学習性無力感」 (約 1315 語)	<p>評論 《出典》 Scott Barry Kaufman, “How to Stop Being a Victim of Your Past.” <i>Psychology Today</i>, March 4, 2025 (大学発表)</p> <p>問1 下線部内容説明 下線部に関する具体例を2つあげる。</p> <p>問2 下線部内容説明 下線部直後の内容をまとめる。</p> <p>問3 語句整序 本文中の文を並び換えて英文を完成させ、3 番目、6 番目、9 番目に来る語句を答える。選択肢は9つ。</p> <p>問4 下線部意味選択 本文から下線部の内容に含まれないものを選ぶ。選択肢は英文。</p> <p>問5 下線部意味選択 下線部の内容に該当するものを5つの選択肢の中から2つ選択する。</p> <p>問6 語義選択 本文中の下線部の語の意味を4つの選択肢から選択する。下線は4か所。</p>	標準
III	その他 英作文	「21 世紀における本の未来」 (約 717 語)	<p>対話文 1) 下線部意味選択 対話文中の下線部の単語と意味が最も近いものを選ぶ。下線は4か所で選択肢は各4つ。 2) 意見論述 「本の未来」について対話文中の登場する人物のどちらに賛成かについて自分の意見を英語で論述する。理由を2つ述べるのが条件。指定語数は、60～80語。</p>	標準
IV	英作文		<p>《出典》大谷伸介他『新・社会調査へのアプローチ—論理と方法—』(一部改変) (大学発表)</p> <p>問1 和文英訳 下線部を文脈に即して英訳をする。「～を可能とした」「…道程を、一日で移動すること」などの処理がポイント。</p> <p>問2 語句整序: 下線部の日本語を参考に語句を並び替える。空所が8つに対して選択肢は10個。</p> <p>問3 語句整序 下線部の日本語を参考に語句を並び替える。空所が8つに対して選択肢は10個。</p>	標準

注：区分は「英文解釈」「読解総合」「英作文」「文法・語法」「聞き取り」「その他」

難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

### <学習対策>

読解問題については、センテンスの意味、文と文のつながり、段落と段落のつながりを意識した読解が必要になってくる。「基本動作」としての和訳の力をしっかりと身につけるとともに、文章の流れを理解して設問の解答につなげるような練習を積むことが必要である。英語による意見論述については、表現したい内容を正確に英文にできる力とともに、論理的な文章展開力が求められる。添削等を通じてスキルアップを求めて欲しい。英語表現問題(英訳・語句整序等)については、基本的な構文の知識をおさえつつ、日本語を適切な英語にする際に必要な語彙力を高めていくとよい。また、全ての問題を通じて語彙力や文法知識が重要であるので、継続的に学習を進めていくとよい。